

令和4年5月18日

各 位

四国紙パルプ研究協議会  
会長 橘 燦 郎

四国紙パルプ研究協議会  
「令和4年度第1回講演会」開催のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は当会の運営に対し、格別のご理解とご協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

さて、令和4年度の講演会を下記のとおり開催いたします。未だ新型コロナウイルス感染症の流行下ですが、感染拡大の防止に細心の注意を払い、下記のとおりご案内いたします。

ご多忙中とは存じますが、多数ご出席下さいますよう、お願い申し上げます。

敬 具

記

開催日時 令和4年6月2日（木）14時10分～16時10分  
開催場所 愛媛県産業技術研究所 紙産業技術センター 研修室  
四国中央市妻鳥町乙127 TEL 0896-58-2144  
参加費 無料(申込必要)  
申込先 愛媛県産業技術研究所 紙産業技術センター  
TEL 0896-58-2144 FAX 0896-58-2145

※ 別紙参加申込書を、上記 **紙産業技術センターにファクス**にて、  
**5月31日まで**にお送りください。

〔お問い合わせ先〕 四国紙パルプ研究協議会事務局  
〒799-0101 愛媛県四国中央市川之江町4084-1  
TEL 0896-58-2055

以 上

**四国紙パルプ研究協議会**  
**「令和4年度第1回講演会」講演発表プログラム**

開催日程      2022年6月2日(木)  
開催時間      14時10分～16時10分

**会長挨拶** 14:10～14:15(5)

**講演1「テクニカルリグニンの利活用と改質リグニンのポテンシャル」**  
14:15～15:15(60)

**国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所**  
**新素材研究拠点 拠点長 山田 竜彦 氏**

工業材料への展開を目的として調製されるリグニン由来物のことを工業リグニン(テクニカルリグニン)と呼び、例えばクラフトリグニンなどもこの範疇に含まれる。様々なテクニカルリグニンがあるが、これらはすべて別物質であり、多くは細胞壁中のリグニンの特性を反映したのものでもなく、加工性、安定性も低く工業材料化を困難としてきた。講演者は樹種の限定とPEGによる分解と同時の誘導体化技術を組み合わせて安定かつ高い加工性をもつ新しい工業用素材「改質リグニン(グリコールリグニン:GL)」を開発すると共に、それを活用した様々な先端材料を開発している。この講演ではTLを整理すると共に、GLのポテンシャルについて紹介する。

**講演2「持続可能なプラスチックの利用を目指したバイオプラスチックの取組み」**  
15:20～16:05(45)

**福助工業株式会社 製造技術部 部長 稲岡 雅樹 氏**

プラスチックは優れた機能により様々な用途で利用され我々の生活に利便性をもたらしてきた。そうしたなか、気候変動問題や海洋プラスチックごみ問題が近年では全世界共通の解決すべき課題となっている。

日本国内でも、2030年度に温室効果ガス46%削減(2013年度比)を目指すことや、令和4年4月1日から始まったプラスチック資源循環促進法により、プラスチックを使用した製品は具体的に環境配慮した設計への見直しが必要になってくる。

本講演では、持続可能なプラスチックの利用を目指したバイオプラスチックについて紹介する。

**閉会挨拶** 16:05～16:10(5)

# FAX 送 信 票

FAX 送付先 愛媛県産業技術研究所 紙産業技術センター

FAX 番 号 0 8 9 6 - 5 8 - 2 1 4 5

令和4年度 紙産業技術センター 研究成果展示発表会・普及講習会

令和4年度 四国紙パルプ研究協議会 第1回講演会

## 申 込 書

会社名又は所属機関名： \_\_\_\_\_

	部 課 名	氏 名	展示発表会 10:00~ 12:00	普及講習会 13:00~ 13:45	四国紙パ研 14:10~ 16:10
1					
2					
3					
4					
5					

・ 出欠については、該当欄に出席の場合は○印を、欠席の場合は×印をそれぞれご記入下さい。

5月31日(火)締切